

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと目白教室
公表日	2025 年 12 月 20 日

利用児童数 57 35

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	4	0	0	場所柄、やむを得ないと思うが、もう少し広いと良い。/少人数で広いスペースを利用している。個室も圧迫感無いように感じる。	利用人数が多い日に関しては、活動を行うにあたり支障のないようスペースの確保に努める。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	0	1	0	言語聴覚士やその他、資格を保有する職員さんがもう少し在籍した方がよいと思う/一対一で対応しているため、ケアが手厚い	資格保持者の採用に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	3	0	0	個別に部屋が確保されているため。ドアにイラストが貼ってあるので、子供もわかりやすいようになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	2	0	0	子供が活動しやすく、綺麗な状態であると感じる。/部屋がやや狭く感じる	引き続き、清潔な環境を保てるよう努める。室内の家具の配置等、少しでも広く感じてもらえるよう検討する。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	2	0	0	専門性ある支援だが、個々の特性のデコボコへの対応が難しいと感じる部分もある/幅広い範囲で多くの科目を実施している	職員間での情報共有や研修等に参加し、よりよい支援が出来るよう努める。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	0	0	4		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1	0	0	言葉や表現など成果が見られるため。	保護者からの相談やニーズに応じて支援計画の作成と説明を行い、理解して同意が得られるよう実施する。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	1	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	0	言葉や表現など成果が見られるため。	引き続き、支援計画に基づいて支援を行う。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	4	0	1	先生間の情報共有を進めていただけると嬉しい/定期的に先生が変更されているため。	職員同士定期的な情報共有を行い、プログラムが固定化されないよう努める。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	6	4	3	何ヶ所か事業所に通っているため交流については困っていない/事業所は、園や地域と交流する必要は無いと思う	提供サービス上現実的ではないが、保護者の希望があれば今後検討する。園訪問の提案は積極的に行う。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	2	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	7	1	11		十分なフィードバック時間の確保、お困りごとの具体的な対応方法等の検討を随時行い、保護者家族に伝えていけるようにする。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	33	2	0	0	ノートや活動後の面談でコミュニケーションを取れているため/週一回の頻度のため/ケアが手厚いです	保護者からの聞き取りを丁寧に、職員間での情報共有に努める。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	1	0	1	ノートや活動後の面談でアドバイスをいただいているため。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1	0	0	てらびあさんのお陰で保護者の心が楽になっております/職員の知見からアドバイスをいただいているため。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	5	15	家族間の交流をしたい人ばかりではない。したい人は外部ですれば良いので、事業者に交流の機会を設けろと促す必要は無いと思う。	現時点では保護者会等の実施は難しいが、ニーズに応じて交流の機会が設けられるよう努める。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2	1	7		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1	0	0	ノートや活動後の面談でコミュニケーションが取れているため。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	3	0	11		利用保護者全員が把握できるような形で、発信していることを共有する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	0		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	0	2	1		利用保護者全員が把握できるような形で、実施状況を周知する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	0	0	8		利用保護者全員が把握できるような形で、実施状況を周知する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1	0	1	トイレなど設備がキレイに配置されているため。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1	0	6	まだ事故等がないためわからない	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	1	0	0	いつも楽しみにしているため。	信頼関係の構築に努め、安心して過ごせる場が提供できるようにする。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	3	0	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	2	0	1	一緒に見守って頂けているのが分かり、素敵な教室に通う事ができているなと思っています。/言語聴覚士の方が現在いない事が残念です。	一人ひとりに合わせた適切な支援を職員間で日々検討し、提供できるよう努める。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぱけっと目白教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	個室が十分に確保され、廊下や集団療育のスペースも広い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		職員の急な休みにも対応できるよう人数が増えるとい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	子どもに必要な情報のみが掲示され、視覚情報が整理された環境になっている。	トイレの段差が少し危険だと感じる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	空きクールや終礼等の時間を利用し、意見を出し合う場を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	第三者評価は受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	本部主催のオンライン研修に定期的に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	他害等は主に終礼にて報告。児童に対して一貫した対応が取れるよう話し合っている。	標準化されたツールは使用できていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	終礼で療育を行った全ての児童のフィードバックを行い、次回以降のプログラムの立案に生かしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	児童が通っている園へ、必要に応じて訪問を行っている。	定期的な訪問の提案と関係機関との情報共有に努める。

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	就学前資料など必要に応じて書類を作成し、保護者にお渡ししている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	提供時間や事業所の特性上対応が難しい。	保護者からの要望があれば検討していく。
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	終礼時に共有し、共通理解を持てるように努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6	開催が出来ていない。	要望があれば対応を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		教材も記名のあるものはシュレッターにかけている
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	現状では開催出来ていない。	要望があれば対応を検討する。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	月に1回はヒヤリハットを上げるよう全体で意識し、再発防止を検討している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		

事業所における自己評価総括表				
公表				
○事業所名	てらびあぽけっと目白教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応のため、ケアが手厚い	1対1で児童と関わるため、お子様や保護者様に寄り添った支援を行うことが出来ている。	個別だけでなく、必要に応じて小集団での活動を行っていく。保護者から要望があれば園訪問へ行き、療育内容へ生かしている。
2	職員間で情報共有のためのミーティングを定期的に行っている。	ミーティングの時間だけでなく、利用児童が帰った後や、終礼後に各々情報を共有している。	引き続きコミュニケーションを大切にし、利用児童に対して一貫した対応が出来るよう努める。
3	定期的に研修に参加している。	本部が行っているオンライン研修や、外部が行っている研修にも参加し、職員の専門性の向上に努めている。	より療育の質が上がるよう、教室内研修を行うことも検討している。
	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職（言語聴覚士等）が少ない	保護者からの言語のニーズが高く、言語聴覚士が配置出来ていないことによる不安や他事業所への移動も見られる。	常勤での専門職の雇用を進めていく。まずは言語聴覚士が巡回で月に数回ずつでも来てもらえるよう努める。
2	送迎がない	駅から通いづらいなどの立地の部分や、仕事の都合で間に合わない為キャンセルになることがある。	少し立地が悪くても通いたいと思ってもらえるよう、職員の専門性の向上や、専門職の配置を行う。楽しめるようなイベント等も行い、工夫する。
3	教室で出来ていても、教室外の環境で般化できていないことがある	園や家庭での困りごとが、教室の環境では見られない場合の支援が難しい	様々な環境の様子を聞き取り、連携して対応していく